

市政記者各位

2021年4月1日
福岡市博物館

常設展示室に新たな展示物が登場！ 元寇（弘安の役）で暴風雨により沈没した モンゴル軍船の遺物を展示します。

対外交流の窓口であった福岡の歴史と、人びとのくらしを紹介する当館の常設展示室に新たな展示物が加わります。

長崎県・松浦市教育委員会のご協力により、元寇（蒙古襲来・弘安の役）に際し、暴風雨のため鷹島海底に沈没したモンゴル軍の武器・武具や船舶関連遺物を、常設展示室の蒙古襲来コーナーに新たに展示します。



① 新たな展示品 鷹島海底遺跡出土遺物 8件 13点 （松浦市立埋蔵文化財センター所蔵）

- | | |
|---------------|----|
| 1 「てつはう」（炸裂弾） | 1点 |
| 2 石弾 | 1点 |
| 3 鉄製兜 | 1頭 |
| 4 鉄刀 | 1口 |
| 5 矢束 | 一括 |
| 6 銅製帯金具 | 3点 |
| 7 磚（かまど用のレンガ） | 3点 |
| 8 碇石 | 2点 |

② 展示場所 福岡市博物館 2階 常設展示室 「元寇防塁の築造と弘安の役」コーナー

③ 展示開始日 4月1日（木）～（常時展示）

開館時間：9時30分～17時30分（入館は17時まで） 7月22日～8月26日の金・土・日・
祝日、8月13～15日は20時まで開館（入館は19時30分まで）

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は翌平日休館）

観覧料：一般200（150）円 高大生150（100）円 中学生以下無料

（ ）内は20人以上の団体料金、料金は常設展示室・企画展示室共通

弘安の役と鷹島

鎌倉時代なかば、日本中を震撼させた元寇（蒙古襲来）。二度目の元寇（弘安の役）は、劇的な結末を迎えます。博多湾沿岸一帯に築かれた元寇防塁により上陸を阻まれたモンゴル軍の船団は、伊万里湾の入り口にうかがふ鷹島（長崎県松浦市鷹島町）等に集結し再襲撃の機会をうかがいますが、弘安4年（1281）閏7月1日（新暦8月16日）未明、暴風雨にみまわれ、多数の軍船が沈没し、モンゴル軍は撤退します。

昭和55年（1980）から鷹島海底遺跡の調査が行われ、平成24年（2012）、遺跡の一部が鷹島神崎遺跡として海底遺跡では初めて国史跡に指定されました。